

令和3年度第4回札幌市子ども・子育て会議児童福祉部会 委員からの意見

「ヤングケアラーの実態調査について」に対する意見は次のとおりです。

下記「札幌市の考え方」は、意見の素案への反映状況を記載しています。

なお、「札幌市の考え方」が空欄になっている意見につきましては、調査実施に当たっての参考とさせていただきます。

No	委員名	資料番号	頁	意見の内容	札幌市の考え方
1	北川 聡子	1	P.3	学校名を問う設問を削除したのは、子どもが特定されないのが良かったです。	
2	稲生 義裕	1	P.4 ～ P.5	<p>Web 調査手法「◆各学校に、ホームルーム等を活用して」とある点について、これを改め、他の生徒との干渉を避けるために、自宅等での調査協力を依頼することをお勧めしております。</p> <p>学校における当事者の立場を思うとき、適切な判断であろうかと存じます。</p> <p>しかし一方、当事者の家庭における立場、またケアを受ける家族の立場を思うとき、自宅等つまりケア現場での調査協力を依頼することが必ずしも良いとは考えられない点があります。ケアを受けている方が、ケアを受けていることへの大きな負担感を抱いていらっしゃる可能性は十分にあることと推察いたします。調査それ自体が、ケア者－被ケア者の間に、不要な軋轢を生じせしめたり、精神的負担となるなどの懸念を抱きます。この点を考えますときに、わたしは「学校」「家庭」以外の場が準備できなくなれば、苦渋の選択としてむしろ「学校」を選ぶべきではないかと考えます。もちろんその際に期待したいのは、教師による十分な配慮です。</p> <p>ケアラー調査の向こう側、その隣にはケアを必要として生きる方の存在があることを見落とさない調査をお願いいたします。</p>	<p>調査実施の場については、生徒のプライバシーに配慮し、学校での一斉調査を避け、それぞれの生徒のタイミングで回答する仕組みとしています。</p> <p>回答方法については、生徒が希望する方法を選択できるよう、紙媒体の調査票も併用して調査を行うこととしており、家庭では回答しにくい生徒にも配慮して、調査を実施してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(子ども育成部)</p>
3	北川 聡子	1	P.4 ～ P.5	ホームルームでの一斉調査は行わず、一定期間のうち、子どものタイミングでの回答も仕組みとして子どもを守るために必要です。	

令和3年度第4回札幌市子ども・子育て会議児童福祉部会 委員からの意見

No	委員名	資料 番号	頁	意見の内容	札幌市の考え方
4	北川 聡子	1	P.5 ～ P.6	依頼文とともに、(2) 学校から調査の趣旨等を説明とありますが、P.5では担任とな っています。 いずれにしても趣旨等がバラバラに子どもに伝わらないような文章が必要と思 います。	生徒へは、調査依頼時に、担任教諭よ り調査の趣旨等の説明を行います。 (子ども育成部)
5	箭原 恭子	1	P.6	文科省のGIGAスクール構想により端末配布は終了したと札幌市からの報告が上 がっているうえで、資料1の6ページ 3) W e b環境にない生徒に、紙媒体の調査 票を配布とあるが、紙媒体をもらう子は、通信環境や端末がない子になってしまう のも気になります。 せっかく全員が端末を持つようになったのに、学校内のみの使用はどうなのでし ょう？アンケートの書き方、送信の仕方など、授業の一環として取り扱い、自宅か ら接続、送信等つながらない、送信できないなども使ってみないと慣れていかない と思います。 回答したアンケートがどこにどのように送信され、集計されるのか、まで教えてい くのも教育だと思います。	W e b環境にない生徒等から、一人 一台端末を用いての回答の希望があ る場合は、状況に応じて端末の持ち 帰り等による対応も想定しておりま す。 (教育委員会)
6	大場 信一	2	P.1	調査方法の記載について 「パソコンや携帯電話による回答か、調査票（紙）による回答が選択できます。」 との記載とした方が、所持していない場合の心理的負担感をもたせないのではな いでしょうか。	以下のとおり修正いたしました。 「筆記での回答を希望する場合は、 紙の調査票と送付用に封筒を配布し ますので、先生に声をかけてくださ い」 (子ども育成部)
7	遠山 博雅	2	P.1 ～	生徒用調査票について 通常、学校のテストやアンケートの場合、選択肢は縦ではなく横になることが一般 的なので、誤った数字を選んでしまう可能性を感じました。	御指摘のとおり修正いたします。 (子ども育成部)

令和3年度第4回札幌市子ども・子育て会議児童福祉部会 委員からの意見

No	委員名	資料 番号	頁	意見の内容	札幌市の考え方
8	大場 信一	2	P.3	問4 お世話について 「支援サービス等の申込み・連絡」を例示に加えてはいかがでしょうか。	以下のとおり、例示に追加いたします。併せて、問6③の選択肢にも追加いたします。 「福祉サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）の申込みや連絡」 (子ども育成部)
9	遠山 博雅	2	P.5	上段の⑤と⑦の設問の「この方のこと」という表現を読みとれない生徒が一定程度いるように感じます。 中学生が答えることを想定し、「お世話を必要としている方で」がよいと思います。	御指摘のとおり修正いたします。 (子ども育成部)
10	大場 信一	2	P.7	問13 「状況を理解してもらえない」の項目追加をご検討ください。	以下のとおり、選択肢に追加いたします。 「9. 相談しても状況を理解してもらえない」とは思わない」 (子ども育成部)
11	稲生 義裕	—	—	すでに同種の調査が、国において、また道において行われております。また、他の府県でも行われたことを耳にします。 そこで、札幌市において同種の調査を行う際には、独自の特徴や狙いを持った調査が行われることを期待いたします。	
12	高橋 司	—	—	国や道との比較において公立・私立からの調査として開始することで宜しいと思いますが、今後は私立にも拡張できるように札幌市として対応して頂きたいです。	